

労働力調査の平成 24 年における季節調整値の改定について

労働力調査では、毎年 1 月分結果公表時に季節調整値の改定を行っています。平成 24 年 1 月分結果公表時の季節調整値の改定に際し必要となる 23 年の各月の原数値のデータについて、震災の影響で全国結果のデータが欠けている 23 年 3～8 月分については、季節調整値の算出用に簡易な方法で計算したものをを用いることとします。

1. 状況

労働力調査では、毎月、季節変動の影響を除いた季節調整値を計算し、公表しています。この季節変動の除去には、原数値を季節指数（各月の季節変動のパターンを表す指数）で除すことにより行っています。そして、毎年 1 月分結果公表時には、直近の季節パターンを的確に反映させるため、過去の時系列データに前年 12 か月分のデータを追加して過去に遡って計算し、過去 10 年分の数値を改定しています。

※季節調整値の詳細については下記資料を御参照ください。

労働力調査の結果を見る際のポイント

No. 4 原数値と季節調整値 [〈http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point04.pdf〉](http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point04.pdf)

No. 7 季節調整値の改定 [〈http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point07.pdf〉](http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point07.pdf)

したがって、平成 24 年における季節調整値の改定(平成 24 年 3 月 2 日公表予定)では、23 年 12 月までのデータを用いて計算することになりますが、23 年 3～8 月分は東日本大震災の影響で岩手県、宮城県及び福島県を除く全国結果のみを集計・公表をしているため、この期間の当該 3 県を含む全国結果のデータが必要な状況となっています。

2. 対応

平成 24 年における季節調整値の改定に必要な 23 年 3～8 月分の全国結果については、当該 3 県を除く全国（44 都道府県分）のデータを基に、当該 3 県を含む全国（47 都道府県分）のベンチマーク人口により復元した季節指数算出用のデータを別途計算し、これを用いることにします。

季節指数算出用のデータは、下記の式で計算します（就業者の場合）。

$$\text{季節調整値算出用 就業者数} = \sum_{\text{地域} \times \text{男女} \times \text{年齢階級別}} (47 \text{ 都道府県のベンチマーク人口}) \times \frac{44 \text{ 都道府県の当該区分の就業者}_{\text{線型推定値}}}{44 \text{ 都道府県の当該区分人口}_{\text{線型推定値}}}$$

この方法で計算した平成 23 年の改定前後の季節指数の変化の状況は、以下のとおりです（就業者数の場合）。

表 季節指数の改定前後の比較（就業者数の場合）

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
改定前①	99.0	98.7	99.1	100.4	101.0	100.7	100.2	100.4	100.5	100.3	100.2	99.6
改定後②	99.2	99.0	99.1	100.3	100.9	100.5	100.2	100.3	100.6	100.3	100.1	99.6
差(②-①)	+0.2	+0.3	±0.0	-0.1	-0.1	-0.2	±0.0	-0.1	+0.1	±0.0	-0.1	±0.0

注 1：平成 23 年 3～8 月の期間における季節指数算出用データ(原数値に相当)及び季節調整値は公表せず、季節指数のみを「長期時系列データ」*表 1 に掲載します。 ※<http://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.htm>

注 2：四半期結果の「東北」地域についても、同様の扱いとします。